

(参考) リモートセンシングデータを使うと便利なこと

参考資料では、観測の「目的・対象」を縦軸、「ユーザが得るメリット」を横軸として、想定される利用ケース・事例を記載しています。是非、カタログと照らし合わせてご使用ください。

			ユーザが得るメリット						
目的	対象	【①精度よく評価・計画する】							
		収量予測／作物判別	病虫害駆除	作付計画立案	防災・減災計画立案／BCP高度化	土地・不動産価値評価	環境保全活動への寄与	都市計画／施設建設計画立案	
単純利用	見る	地形			○	○(ハザードマップ) ○(傾斜・標高から地すべりや浸水の可能性を予測)	○		○(仮住居建設) ○(石油鉱物資源開発時の採掘施設建設 フィジビリティ調査)
	見る	土地			○	○	○	○	
	見る	都市				○	○	○	
	見る	植生	○(植生指数と日照時間データから年次で変動する水稲の収量を予測) ○(季節変化やスペクトル特性から判別) ○(植生指標等からの生育状況を把握)	○(比演算から特定の害虫被害箇所の特 定)	○(多時期による比演算画像からの作付時期を予測)			○(樹種・植生タイプの判読) ○(光学画像から町の緑地を判読)	

目的・対象